

## デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について

地方創生の推進にあたっては、一部の事業について内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して取り組んでおり、その概要は以下のとおりです。

### 1 交付金の状況について

#### デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業

（単位：円、件）

年度	交付金実績額	事業数
令和元年度採択分	9,907,000	1
令和3年度採択分	24,371,105	2
令和4年度採択分	122,326,611	3
令和5年度採択分	64,537,901	6
合計	221,142,617	12

### 2 地方創生関連交付金事業の主な効果

#### （1）若者と共に創る、若者に選ばれる高等教育機関・企業・地域の魅力向上事業 【事業番号2】

県内企業におけるテレワークの導入の取組に係る支援の実施およびテレワークの導入に積極的な企業と導入をサポートする企業等が交流し、ノウハウを学び、マッチングする機会を設定した結果、多様な就労形態を導入している県内事業所の増加率が目標の0.8%を上回る1.3%でした。

#### （2）次代につなぐ新たな三重の農林水産業の推進 【事業番号3】

アウトドア活動を通じて農山漁村地域を盛り上げてくれる人材の育成や農山漁村地域の魅力を広く発信した結果、農山漁村の交流人口が目標の3.0万人を上回る4.6万人でした。

### **(3) プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 【事業番号11】**

地域金融機関、中小企業支援機関等と連携してプロフェッショナル人材戦略拠点の運営を行い、地域の中小企業に対して「攻めの経営」や経営改善の実践をサポートした結果、プロフェッショナル人材戦略拠点と企業とのマッチング成約件数が目標の60件を上回る80件でした。

## **3 地方創生関連交付金事業の主な課題**

### **(1) 若者と共に創る、若者に選ばれる高等教育機関・企業・地域の魅力向上事業 【事業番号2】**

県内高等教育機関卒業生の県内就職割合の増加目標を1.0%としたところ、県内高等教育機関の入学定員の7割を超える4年生大学においては、県外からの入学者数が半数を占める中、働く場としての県内企業の魅力を十分に伝えることができなかつたことなどから、1.0%の減少となりました。若者の就職に対する考え方や企業の求人の方法など、就職活動に係る情勢の変化が生じている中、県内定着を促進するため、県内就職者の増加をめざす県内高等教育機関が行う、魅力向上につながる取組を支援していく必要があります。

### **(2) 県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業 【事業番号7】**

南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値を1.87%としたところ、働く場が少ないこと等をはじめとした様々な要因により、若者の定住率の減少に歯止めがかからなかつたため、0.03%の減少となりました。一朝一夕には解決できない要因もあるものの、本事業を通して、地域だからこそできる様々なことにチャレンジをしている人材同士の連携の強化や情報発信に取り組み、その活動を根付かせることで地域の活力を高めるとともに、若者が実際に地域を訪れ、そうした人びとと交流する機会の提供等の取組を進め、地域で働き、暮らすことの魅力の発信に一層努める必要があります。

## **4 今後の取組方向について**

県議会や三重県地方創生検証会議等での効果検証の結果をふまえ、今後のデジタル田園都市国家構想交付金事業の実施に生かしていきます。

**【参考】**

**デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業  
KPI（重要業績評価指標）の達成状況一覧**

（単位：円、件）

年度	交付金実績額	KPI 設定数	KPI 達成数	KPI 未達成数	KPI 未確定数
令和元年度採択分	9,907,000	2	1	1	0
令和3年度採択分	24,371,105	7	5	1	1
令和4年度採択分	122,326,611	12	5	5	2
令和5年度採択分	64,537,901	21	13	6	2
合計	221,142,617	42	24	13	5

# ■ デジタル田園都市国家構想交付金 KPI達成状況一覧

## 1. 令和元年度採択分 (単位:円)

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
1	三重県移住・就業マッチング支援事業	20,658,000	9,907,000	<p>1. マッチング支援事業 県内中小企業等の人材確保を促進するため、新たに移住者(離転職者)向けに県内企業等の求人情報を掲載するマッチングサイトを構築するとともに、マッチングサイトが有効活用されるよう、県内企業等が情報発信力を強化する企業向けセミナーを開催するほか、関係機関や市町等と連携して当該サイトへの登録企業等の増加を図る。マッチングサイト上には、「しごと」情報だけでなく、「社風」やその企業の持つ「強み」なども掲載するほか、「暮らし」に関する地域情報なども参照できるようにし、三重の魅力を発信する。</p> <p>2. 移住支援事業 若者・子育て世代等の移住を促進するため、東京23区で一定期間在住または勤務していた者が、上記「1 マッチング支援事業」を活用して県内に就業・移住する場合、市町と連携して、移住にかかる費用を定額で補助する。</p>	本移住支援事業に基づく移住就業者数	51人	14人	×
					マッチングサイトに新たに掲載された求人数	100件	131件	○

## 2. 令和3年度採択分 (単位:円)

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
2	若者と共に創る、若者に選ばれる高等教育機関・企業・地域の魅力向上事業	12,234,000	11,710,258	<p>1. 高等教育機関の魅力向上 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえた、県内入学者や県内就職者の増加につなげる県内高等教育機関の取組に対し、財政的に支援する。高等教育機関が企画する補助対象事業については、SDGsや健康経営、働き方改革に取り組む企業の魅力ある情報が高等教育機関を通じ学生に届くよう、採択する際の仕組みを構築していく。</p> <p>2. 企業の魅力・働きやすさの向上 県内におけるテレワーク導入事例を踏まえて三重県オリジナルの導入ガイドを作成し、導入ガイドを活用した入門研修を実施することで、県内企業におけるテレワーク導入の取組を支援する。また、研修会に合わせ、企業の交流会を実施し、テレワークの導入に積極的な企業と導入をサポートする企業等が交流し、ノウハウを学び、マッチングする機会を設定する。 また、企業等における健康経営の取組を促進し、多くの人が一日の大半を過ごす職場での健康づくりに取り組むことを目的として、「三重とこわか健康経営カンパニー(ホワイトみえ)」の認定を受けた企業等が健康経営を加速させる取組に要する経費の一部を補助する。補助対象事業は、令和2年度に本県が行ったICTを活用した健康づくり実証事業のエビデンスを踏まえ、DXを取り入れた健康経営の取組を対象とする。</p> <p>3. 企業の魅力・やりがいの向上 SDGsに寄与する取組を行っている企業を見える化することで、企業の魅力向上につなげるとともに、新たにSDGsに取り組む企業を増加させるため、SDGs登録制度の構築を図る。構築にあたっては、有識者の意見を聞くとともに、参加企業のインセンティブとなるよう、SDGs金融を見据え、金融機関とも連携していく。 脱炭素経営に取り組もうとする事業者等に対しアドバイザーを派遣するなど、環境や地域に貢献しようとする事業者をサポートすることで、自主的な取組を促進する。また、アドバイザーを派遣する際に、環境経営に関心のある若者も同行できる取組を検討(インターンシップなど)し、若者が企業の取組に実際に触れる機会を提供すること等により、若者が県内の魅力ある企業を身近に感じられる取組へとつなげ、持続可能な魅力的な企業への発展を促す。</p> <p>4. 地域の魅力向上 「太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議」において、三重県の魅力をPRするエクスカージョンを開催するとともに、第9回太平洋・島サミット、「太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議」の開催に向けて、「みえグローバル学生大使」による、太平洋島嶼国に関する研究活動や島嶼国出身留学生との交流事業を行うことで、国際的な視野を持った人材育成と島嶼国をはじめとする国外に向けた本県の魅力発信につなげる。開催後は、その成果も踏まえて国際的な問題に関する若者向けのセミナー等を開催し、国際的な視野を持った人材育成につなげる。 ワーケーション推進については、県内各地域において事業者が市町等と連携してモデルプランの企画、必要な環境整備等を行うモデル事業を実施し、その成果を県内に水平展開して受入体制を充実させるとともに、行政・民間含めたワーケーションに関わる様々な主体を対象とした研究会を開催し、「みえモデル」構築のための研究及び地域の中心となってワーケーションを受け入れていく人材を育成する。 また、市町と連携して“みえモデル”ワーケーションの情報を各種メディアにより発信していくほか、ワーケーションマッチングサイトの機能強化・多言語化や大都市圏でマッチングイベントの開催により、ワーケーションに関心を持つ企業・個人と県内受入施設等とのマッチングを促進していく。</p>	県内高等教育機関卒業生の県内就職割合	1.00%	▲1.00%	×
					多様な就労形態を導入している県内事業所の割合	0.80%	1.30%	○
					SDGs登録制度の登録事業所数	160事業所	344事業所	○
					国際的な視野を持つ若者の育成に取り組んだ件数	15件	15件	○

	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
3	次代につなぐ新たな三重の農林水産業の推進	15,366,000	12,660,847	<p>1. 活力ある働く場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域へのDXの浸透を図るため、本県農業の基幹となっている水田農業、特に小規模農家や高齢農家等の家族農業による共同体づくりや集落営農組織を育成するため、県産米の安定生産・品質向上に向けた栽培技術の実証に取り組む。</li> <li>・また、多様な農業外人材の働く場の獲得に向け、コロナ禍における新たな日常に対応し、マッチングアプリを活用した単日・短時間労働(ワンデイワーク)等を可能とする新たな仕組みを構築する。</li> <li>・労働環境の改善に向けては、LPWAN等のICT技術の導入に意欲的に取り組もうとする事業体が活動するモデル地区において、関係市町や製材業者、林業事業者等が連携し、総合的な実装に取り組む。</li> <li>・さらに、将来性のある魚類養殖において、リスクヘッジに対応する新しい魚類養殖に取り組むとともに県内養殖業者の法人化を促進することで、希望を持って若者が働ける場を創出する。</li> <li>・消費者の参画を容易にし、多様な関係者が緩やかに出会い、つながることのできるオンラインを活用したリアルなマッチングやプロジェクトに発展させる全国的にも先進的なモデルとなる地産地消の基盤づくりに取り組む。</li> </ul> <p>2. 地域で活躍し続けることができるひとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXを活用した兼業農家の後継者など若い人材への基本的な栽培技術や農業機械の基本的な作業技術の円滑な継承に取り組む。</li> <li>・新たなオンライン漁師育成機関を開設し、現地を直接訪れない形で、時間や場所にとらわれない学習形態を導入することで、新規漁業就業者の確保と地域漁業の法人化を担う若手・中堅漁業者の育成による経営感覚をもった人づくりに取り組む。</li> </ul> <p>3. 魅力あふれる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能で多様性のある社会の実現をめざすSDGsの考え方にに基づき、若年の社会人や大学生等が、空き時間を利用して、気軽に、三重県の農山漁村地域を訪れ、自然体験から学んだり、働いたりすることで、地域で暮らす人々との連携を深化させる。また、季節行事や催事、発災時の復旧支援に参加するなど、より長期の滞在、関係人口の増加、ひいては地域活性化につながるよう、DXを活用しながら、産学官が連携した機会創出・仕組みづくりに取り組む。</li> </ul>	農林水産業における新規就業者数(累計)	270人	未確定	
					スマート林業の実践事業体数	5事業体	5事業体	○
					農山漁村の交流人口	3.0万人	4.6万人	○

3. 令和4年度採択分 (単位:円)

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
4	共生社会の実現による持続可能な魅力あふれる地域づくり事業	44,132,000	42,784,352	<p>1. ダイバーシティ社会実現に向けた分野横断的な取組</p> <p>(1) 気運醸成(行動促進・拡大)</p> <p>県のダイバーシティ推進方針に基づき、学校、職場、地域など、さまざまなコミュニティの中でダイバーシティ推進の行動がさらに広がっていくよう、ワークショップや発信等を行う。</p> <p>(2) 移住促進</p> <p>「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心としたきめ細かな相談対応、全国フェアへの出展や他県と連携した移住プロモーション、HP等での情報発信を行う。地方移住に向けた人の流れや関心の高まりを、三重への移住につなげられるよう、オンラインを積極的に活用したハイブリッドでの実施など、相談会等のさらなる充実を図るとともに、移住希望者と県内の地域の人たちが継続的につながる仕組みである「三重暮らし魅力発信サポーターズスクエア」の取組を市町や「三重暮らし応援コンシェルジュ」と連携しながら進める。</p> <p>2. ダイバーシティ社会実現に向けた個別の取組</p> <p>(1) 性の多様性(LGBTQ等)に関する取組</p> <p>ダイバーシティ社会を推進していく上で、令和3年4月1日に施行した「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」や、令和3年9月1日から開始した「三重県パートナーシップ宣誓制度」を踏まえ、性の多様性に関する理解が社会全体に広がるよう、県民向けの啓発イベント、企業向け研修や取組事例発信などの啓発事業を進める。併せて、電話・SNSでの相談窓口、LGBTQ等の当事者の孤立を防ぐための居場所づくりといった相談支援事業にも取り組む。</p> <p>(2) 障がい者に関する取組</p> <p>① 林福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援</p> <p>② 水福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援</p> <p>③ 農福連携の広がり促進</p> <p>(ア) 農福連携による青果物のスマート流通体制整備</p> <p>(イ) 農福連携におけるスマート技術環境改善実証</p> <p>④ 障がい者の短時間雇用及び施設外就労の促進</p> <p>⑤ 障がい者のテレワーク</p> <p>(3) 若者に関する取組</p> <p>三重県で地域づくりに取り組む若者の活動を発信するイベント等を開催し、若者同士がつながる機会を設けることで、若者のネットワークの醸成を促す。加えて、つながった若者同士が一緒に地域づくりを体験する機会を設け、その経験を積み重ねることで、地域への関心や地域づくり活動の継続を促していく。</p>	当該推進交付金事業による林福・水福連携施設外就労マッチング件数	4件	12件	○
					当該推進交付金事業による短時間雇用障がい者数	4人	5人	○
					県及び市町の施策を利用した県外からの移住者数	30人	180人	○
					ダイバーシティの認知度	2.50%	▲14.2%	×

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
5	消費拡大と気候変動に対応したみえの農林水産推進事業	14,083,000	13,920,674	<p>1. 県産農林水産物の消費拡大  ・多様なシーンでの伊勢茶活用を促進することで、伊勢茶に愛着を感じる県民による消費の拡大を図る。あわせて、茶産地において生産性向上に向けた生産構造への転換を進めることで、茶生産者の所得向上を図る。また、ティーバッグの活用により、マイボトルの活用を促進し、脱プラスチック(ペットボトルからの脱却)を進めるため、新たな商品の開発に取り組む。  ・米生産者の経営安定に向けて、新たな販売手法であるアンバサダーマーケティングを活用した販路の開拓に取り組み、県産米の販売拡大を図る。  ・オール三重で「三重の木づかい」に取り組む社会づくりを進めるため、暮らしに取り入れたいくなるような魅力的な県産木製品の開発や、身近に県産材に触れることができる機会の提供等、日常生活において県産木製品が選ばれる環境を整備することにより、身近で日常的な木材利用を促進する。</p> <p>2. 気候変動に対応した養殖業の確立  安定的な水産物の生産・供給を可能にし、効率的かつ持続的に発展できる強靱な養殖業を実現するため、気候変動に適応する新しい養殖業の確立を図る。</p>	農林水産業における県内新規就業者数	270人	未確定	
					伊勢茶新商品開発数及び多様なシーンでの伊勢茶の活用数	6件	5件	×
					県産材を使用した新たな商品数	15商品	22商品	○
					海面養殖業収穫量の増加率	2%	▲0.13%	×
6	One to Oneマーケティングによる三重の観光地づくり推進事業	66,196,000	65,621,585	<p>1. 三重県観光マーケティングプラットフォームを活用した「One to Oneプロモーション」  旅行者一人ひとりの旅行の段階「旅マエ」、「旅ナカ」、「旅アト」にあわせたプロモーションができる仕組みを構築し、旅行者個人にパーソナライズ化された情報やクーポンを自動的かつダイレクト・タイムリーにメールやLINEで配信を行うなど、旅行者一人ひとりの興味・関心・タイミングに応じた「One to Oneマーケティング」を行う。また、プラットフォームへの顧客データの蓄積と、旅行者の満足度向上を図るため、旅行者に県内周遊を楽しんでもらいながらデータを収集するためのキャンペーンや的確にターゲットに訴求できるプロモーションを、プラットフォームと一体となって実施する。</p> <p>2. 三重県観光マーケティングプラットフォームのデータを活用した魅力的なコンテンツ造成と周遊促進  コロナ収束後の旅行者ニーズの多様化に対応するため、プラットフォームで収集・蓄積した顧客データを活用し、文化・伝統、自然、食、世界遺産熊野古道など三重が世界に誇る観光資源やそれらの観光資源を体験できるコンテンツの造成・磨き上げを行う。また、県内に相次ぎ開業している大型集客施設や自然を生かした宿泊特化型施設と連携するなど、旅行者の自然に対するニーズに応えながら滞在型の旅行を促進するためのプログラム造成を図る。さらに、データに基づくマーケティングを実践し、本県を訪れることでしか味わうことができない体験コンテンツを旅行者のニーズに応えながら充実させ、三重の強みである様々な観光資源を国内外に発信することで、宿泊地を拠点とする県内各地域への周遊を促進していく。</p> <p>3. マーケティングデータ活用人材育成  観光事業者自らがプラットフォームを活用した効果的なマーケティング活動を行えるよう、DXやプラットフォームの活用に関するオンライン研修会を実施するとともに、観光事業者を直接訪問し、マーケティングに関する課題のヒアリングや、プラットフォーム内データの分析結果のフィードバックを個別に実施する。また、観光地域づくり法人(DMO)や行政職員がプラットフォームのデータを分析して観光施策に活用できるよう、専門家の知見を生かしながらデジタル人材の育成を行う。</p> <p>4. アフターコロナの旅行者ニーズの変化に対応したインバウンド誘客  本県が有する観光資源の専門的な評価(体験、景観、グルメなど項目別に、個々の観光コンテンツを評価する)に基づき、コロナ収束後における外国人旅行者ニーズをより的確にとらえた情報発信を強化するとともに、プラットフォームをインバウンド向けにも活用するため、訪日旅行に関心を有する外国人ユーザーデータを収集・蓄積する。また、SNSの活用にあたっては、オンラインイベントの実施など興味をかき立てる工夫をしてフォロワーへの露出を高めるとともに、ユーザーからの投稿を促進し、投稿に対するリアクションを充実させるなどコミュニケーションを活発化させる取組を行うことで、三重県への関心を高め、来県意欲の向上につなげる。</p>	観光消費額	850億円	未確定	
					三重県観光マーケティングプラットフォームへの登録旅行者数	1.5万人	1.09万人	×
					三重県観光マーケティングプラットフォームへの参画事業者数	110事業者	▲9事業者	×
					観光客満足度	0.35%	1.3%	○

4. 令和5年度採択分(単独事業) (単位:円)

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
7	県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業	11,954,000	11,942,000	<p>1. 地域活動の担い手の横の連携強化 本県では関係人口の拡大や移住等について、地域おこし協力隊やそのOB、先輩移住者が一定の役割を果たしていることが多い。そこで南部地域にコーディネーターを設置し、こうした方々による地域での自主的な活動の促進やその活動の幅を広げるため、横の連携の強化に取り組むとともに、本事業終了後も、その連携が自走できるよう、地域の担い手同士の関係構築、関係強化に取り組む。また、地域活動は複数分野にまたがることから、コーディネーターはこうした取組の総合的な窓口となり、関係課につなぐとともに、分野横断的な対応に取り組む。</p>	南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値	1.87%	▲0.03%	×
				<p>2. 移住の促進 現在の取組に加えて、現場により近いところにコーディネーターを設置し、実際に移住を受け入れている市町や地域で活動する方々との連携強化や情報共有を進めるとともに、移住相談会に参加し、広域的な視点から移住相談を受けたり、情報発信を行うなど、市町の枠を超えて、南部地域全体での移住の受入を促進する。</p>	地域住民等が主体となった地域への新たな活動件数	26件	29件	○
				<p>3. ワークেশョンの促進 地域内のワークেশョン促進のキーマンとしてコーディネーターを設置し、ワークেশョンの受入先等と連携し、魅力のあるワークেশョンプログラムの企画立案の支援等、地域に近い立場から、ワークেশョン促進に向けて取り組むとともに、必要に応じて、希望する企業等を地域へつなぐ役割を担う。また、多様な働き方の促進に向け、地域内企業のワークেশョンに係る詳細なニーズの把握や掘り起こしを行うとともに、ワークেশョンを通じて生じた関係人口がさらに地域に深く携わってもらえるよう、ワークেশョン実施者に対して、二拠点居住や移住に向けたアプローチを行う。</p>	南部地域内の企業・魅力体感事業への参加を通して、南部地域に定住することとなった若者の人数	1人	1人	○
				<p>4. 地域の魅力発信・体感機会の提供 若者の人口流出が極めて厳しい状況にある南部地域において、県外を含め地域外に進学・就職した若者に対し、南部地域内の企業・魅力体感事業として、企業見学や、地域で活躍している方々との意見交換・交流と併せて、地域で暮らすことの魅力を体感してもらえるツアーを実施する。</p> <p>5. 取組に係る課題の深堀と新たな取組等 コーディネーターが地域で活動する人、企業、若者に対してヒアリングを実施するとともにワークショップを開催することで、地域づくりの促進や移住促進、ワークেশョンの促進等をはじめとした地域に潜在する課題やニーズを把握するとともに、こうした課題等をもとに、担当所属や市町等の関係者に情報共有・調整し、総合的に対策を検討・実施する。その中で複数市町にまたがる課題やニーズについては、県と市町で構成する「みえ人口減少対策連携会議」で全市町に共有するとともに、必要に応じて県と市町の共同連携事業での対策につなげる。 コーディネーターが上記「地域活動の担い手の横の連携強化」「移住の促進」「ワークেশョンの促進」をはじめとした地域活動の支援を実施するにあたり、事前に県との調整、または県からの助言を受けたうえ、必要に応じて取組の改善を加えながら進めていく。また、地域の課題等が新たな取組や県施策の改善につながるよう、随時県への情報共有や意見交換を行うなど、連携しながら取り組んでいく。</p>	コーディネーターが実施する地域住民等に対するヒアリング・ワークショップの回数	120件	172件	○
8	カーボンニュートラルへの動きをチャンスととらえた三重の産業振興事業	18,774,000	17,872,595	<p>1. 再生可能エネルギーの導入と特性を生かした地域経済の活性化プロジェクト 地域での新たな産業の創出や地域経済の活性化を図るため、洋上風力発電をはじめとした地域の特性を生かした再生可能エネルギーを導入し、そのエネルギーの需要及び供給をコントロールする高度なエネルギーマネジメント技術を核として行う「地産地消型のエネルギーシステム」に係る新たなビジネスモデルを県内地域の関係者とともに構築する。</p>	地産地消型エネルギーシステムに係るビジネスモデル構築数	0件	0件	○
				<p>2. 林業の活性化に向けたJ-クレジットの活用促進 林業の活性化に向けてJ-クレジットの活用を促進するため、森林吸収クレジットの創出拡大に向けた森林経営者等へのサポートを強化するとともに、流通量拡大に向けた活用促進の取組を実施する。</p>	地産地消型エネルギーシステムに係る新規事業参画事業者数	0件	0件	○
				<p>3. 林業以外の第一次産業の活性化に向けたカーボン・クレジットの活用 林業以外の第一次産業の活性化に向けて森林以外の炭素除去・吸収系のクレジットの活用を促進するため、新たなCO2吸収源にかかる研究開発状況などを整理するとともに、地域の特性をふまえ、県内における農水産業等における活用を促進する。</p>	J-クレジット制度における森林管理プロジェクトに登録する新規事業者・団体数	1者	2者	○

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
9	みえの農林水産業 経営安定化事業	20,745,000	19,922,952	<p>1. 飼料の自給体制構築事業、肥料の自給体制構築事業 価格高騰や調達困難が懸念されている飼料を将来にわたって安定的に確保していくため、耕種農家による飼料の生産体制を構築するとともに、県内の食品製造事業者等とのマッチングにより、食品製造副産物を利用する取組を進めることで、飼料の自給体制の構築を図る。 また、価格高騰や入手困難が懸念されている化学肥料から、県内畜産農家等が供給する堆肥を原料とする有機質肥料へと使用の転換を進めるため、県内の畜産農家と耕種農家との連携を進め、家畜排せつ物を利用した肥料の生産や散布に必要な機械の導入を促進するとともに、有機質肥料を使った栽培実証に取り組む。こうした自給体制の構築を進めることにより、経営コストを削減し、経営の安定を図る。</p> <p>2. 米粉の生産拡大推進事業 主食用米の生産調整を進めるなか、耕作放棄地の拡大が懸念される中山間地域において、輸入小麦価格の高騰を受けて原材料の切り替えにより需要が高まっている米粉について、スマート技術を活用しながら、本県の気象条件などに適した米粉用米の生産拡大に向けた現地実証を行う。また、加工事業者と連携して加工適性評価を行うことで米粉の安定的な需要の確保につなげ、主食用米以外の収入の確保を通じた経営の安定を図る。</p> <p>3. 黒ノリの色落ち緊急対策事業 黒ノリ養殖業において、とくに栄養塩類不足による色落ち被害が深刻な地区で、養殖業者、漁業協同組合、県等が連携し、育苗促進、色落ち抑制・色調向上のための陸上水槽や養殖漁場での施肥の最適条件確立に向けた実証を行う。それにより、黒ノリの安定生産に向けて、黒ノリ養殖の全工程を陸上で行う新たな養殖方法の確立および実用化に向けた検証に取り組む、経営の安定を図る。</p> <p>4. 県産水産物販売チャンネル拡大事業 水産物の販売に力を入れている大都市圏の量販店において、消費者が県産水産物の魅力を実感できる定期的かつ継続的なフェア等を実施するとともに、実需者である量販店のバイヤーを対象にした産地招聘や継続的な商談を実施する。また、多様化する、消費者・実需者ニーズに対応できるよう生産・加工業者へ支援を行う。こうした生産・加工から流通・消費者に至るサプライチェーン全体への一体的な取組を通じて、恒常的な販路の確保を図る。</p>	農林水産業における県内新規就業者数	270人	未確定	
					飼料・肥料の自給体制構築に取り組むモデル農家数	10戸	7戸	×
					施肥に取り組む経営体の黒ノリ生産枚数の増加量	10万枚	85万枚	○
					県産水産物フェア開催量販店における県産水産物の販売金額	200百万円	17百万円	×
10	地域一体型スタートアップ 支援事業	4,574,000	4,574,000	<p>1. スタートアップマッチング 革新的な技術・サービス等を活用して新事業展開をめざす国内のスタートアップと県内企業をマッチングして県内の既存事業者へ普及する新事業のロールモデルを創出する。</p> <p>2. 新規事業創出に向けたリバーシピッチ 県内で新事業を創出しようとしている事業者が抱える課題や今後コミットしていく事業領域を発信し、革新的な技術・サービスを持ったスタートアップとの協業を促進することで課題解決を図る。</p> <p>3. オープンイノベーションの促進 県内スタートアップ等と革新的な技術・サービスを持った他者双方がお互いのリソースを公開・提供しあうことができる連携の場を設け、地域において新事業のさらなる展開と機運醸成を図る。</p>	三重県における新規事業創出数	4件	3件	×
					県外事業者による県内での課題解決に向けた新規取組数	2件	3件	○
					対象事業に参加する事業者数	4事業者	4事業者	○
11	プロフェッショナル人材 戦略拠点運営事業	9,728,000	9,726,354	金融機関や中小企業支援機関等から出向する新たなサブマネージャーを拠点に配置することにより、訪問する企業数を拡大したうえで、新たなプロ人材の獲得の選択肢として、副業・兼業による限定的な人材の登用を企業等に説明し、人材ニーズを掘り起こし直すものとする。さらに一連の活動の中でサブマネにノウハウを学んでもらい、今後の自走化に繋げる。	プロフェッショナル人材戦略拠点が行う相談件数	300件	488件	○
					プロフェッショナル人材戦略拠点と企業とのマッチング(成約件数)	60件	80件	○
					デジタル人材等の副業・兼業人材の活用に関するマッチング(成約)件数	20件	5件	×



5. 令和5年度採択分(広域連携事業) (単位:円)

番号	事業名	交付決定額	実績額	事業概要	KPI	増加分目標値	増加分実績値	達成状況
12	観光DXでかがやく観光地域づくり事業	500,000	500,000	<p>(一社)東紀州地域振興公社が主な事業推進主体となり、地域全体の観光振興のあり方や具体的な取組を地域の観光に関わるすべての者と連携・協力して定め、役割分担の上で計画的に進める。</p> <p>1 ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカタチづくり事業 デジタル技術を活用して、以下事業に取り組む。                      (1)東紀州地域映像・音声ガイド整備事業 映像・音声ガイドを視聴できる観光コンテンツを整備する。                      (2)デジタルマーケティング運用支援事業 グーグルビジネスプロフィールを活用したエリアマーケティングを行う。                      (3)宿泊施設での観光DX活用推進事業 宿泊施設のデータを地域全体で収集・分析の上、収益最大化につなげるシステムを構築する。                      (4)旅ナカパンフレット作成事業 グーグルマップと連携させたパンフレットを作成する。                      (5)デジタル観光コンテンツ素材収集・作成事業 オンライン観光ツアー用の素材収集・コンテンツ作成を行う。</p> <p>2 持続的なヒットづくりに向けた観光ガイド整備事業                      (1)観光ガイド整備事業 高付加価値プロガイドの育成・商品化を行う。</p>	東紀州地域における観光消費額	1,311百万円	未確定	
					観光コンテンツアクセス回数	200回	168回	×
					デジタルマーケティング参画事業者による業務改善数	0件	0件	○
					システム参入宿泊施設数	0施設	0施設	○